

平成28年度 吉村市政初の予算審議

平成28年3月3日、4日に平成28年度大阪市予算に対する代表質問が行われました。大阪維新の会からは、角谷委員と出雲委員が登壇し、吉村市長に対して多岐に渡る質問を行いました。



“注目” 「子どもの貧困対策について」

角谷: 大阪は子どもの貧困率が沖縄県に続いて全国2位となっている。今後どのように対策を進めていくのか。
市長: 5歳児・小学校5年生・中学校2年生の合計約6万人に対してこれまでにない規模で調査を行う。調査を元に計画を策定し、目標とする数値を設定し、施策を推進する。

【その他の主な質疑項目】

- ・ 中学校給食について・病院再編計画について
- ・ 大阪の成長を支える鉄道ネットワークについて
- ・ 副首都推進本部について・ICT 施策について など

“注目” 「副首都化の推進について」

出雲: 大都市制度について、行政として市民との意見交換をすると言っているがスケジュール感などを伺う。
市長: 本年4月に設置する副首都推進局において、具体的な方策を固め、準備を進め、**本年8月頃を目途に意見交換を開始したい**と考えている。

【その他の主な質疑項目】

- ・ 子育て教育環境の充実について
- ・ 防災体制のさらなる充実・耐震対策の推進について
- ・ 市民の暮らしを守る福祉などの向上について など

財政総務委員会まとめ

財政や総務に関する市政全般の幅広い分野を所管する当委員会では、財政状況の確認を行いました。平成28年度予算の通常収支不足は153億円と未だ厳しい状況にありますが、橋下改革で400億円近く改善してきました。現状把握として、借金過多、税制改正の収入減要因、将来のインフラ整備などの支出増要因など、厳しい現実を目をそらすず追求しました。また、お金を作るための方策として、**未利用地の売却・定期借地、吉村市政の新たな改革などを提言**しました。さらには、住民サービスの質向上のため、教育も含めた中身のあるICT戦略、ビッグデータの活用、見守り防犯カメラの設置、地活協の中間支援組織の在り方見直し、マイナンバーの適正運用、西成特区構想推進などを提言しました。

今後も無駄遣いを許さず、さらなる住民サービスの拡充を目指します！



大内けいじ委員 (此花区) 丹野壮治委員長 (阿倍野区) 杉村幸太郎委員 (平野区) 藤田あきら副委員長 (港区) 高見りょう委員 (東住吉区) 宮脇のぞみ委員 (東淀川区) 岡田やすとも委員 (西成区)

教育子ども委員会まとめ

教育委員会・子ども青少年局を所管する当委員会では、子育て教育分野に関する施策について議論を深めました。平成31年2学期より全中学校で実施予定の**学校調理方式による給食**について、また今年じゅうに設置が予定されている**幼児教育センター**について、進め方や留意点などを議論しました。**待機児童解消問題**では、特区制度を活用した都市公園内への保育所設置の検討、保育士の業務軽減を目的とした市内全ての民間保育所・認定こども園・地域型保育事業所におけるICT整備の推進、使える英語教育の実現に向けたネイティブスピーカー人員の学校配置など、幅広く質疑や提案を行いました。

今後も教育・子育て環境の向上を目指して尽力します！



広田かずみ委員長 (福島区) 角谷庄一委員 (生野区) 出雲輝英委員 (大正区) 上田ともたか副委員長 (住吉区) 佐々木りえ委員 (住之江区) 藤岡寛和委員 (西成区)



民生保健委員会まとめ

福祉/健康/環境局を所管する当委員会では、医療政策や公衆衛生などを担う健康局に対して、公衆浴場に対する支援、エイズ対策、民泊について、**府市で共通する機能を持つ衛生研究所の統合に関する質疑**などを行いました。福祉局に対しては全市で始まっている生活困窮者自立支援事業の進捗など身近な福祉課題に対する質疑を行いました。環境局に対しては家庭系ごみ収集事業の民間委託の進捗や、公務員に頼らない抜本的なごみ収集のあり方について質疑が行われました。今後も吉村市長とともに粘り強い合意形成に向けて議論を尽くします。

より良い福祉、環境事業の推進に向けて取り組んでまいります！



辻淳子委員 (西成区) 美延映夫委員 (北区) 木下誠委員 (生野区) 片山一步委員 (住之江区) 飯田さとし委員 (城東区) 金子えみ委員 (天王寺区)

都市経済委員会まとめ

経済戦略/都市計画/都市整備局を所管する当委員会では、経済政策や観光政策、都市計画や都市整備について、提案や質疑を行いました。**PFI手法を活用した整備が予定されている新美術館については、リスクを抑えるための組織づくりなどを提案**しました。各区で活用や処分が進んでいない未利用地についても、区役所主導でのビジョンの作成など、今後の取り組みについて提案・議論を行いました。その他、ものづくり、御堂筋の賑わい、大学誘致、文化を活かした観光、観光バス対策、経済成長、うめきた2期、夢洲まちづくりなどについて幅広く質疑を行いました。

経済・観光・都市計画・都市整備の向上のため議論を尽くします！



東たかゆき議長 (西区) 山下昌彦委員 (淀川区) 田辺信広委員 (東住吉区) 伊藤良夏委員 (住吉区) 今井アツシ副委員長 (鶴見区) とくだ勝委員 (西淀川区)

大阪の成長を前に進める吉村市政！
橋下市政を継承し
新たな価値を生み出す、

建設消防委員会まとめ

危機管理/消防/建設/港湾局を所管する当委員会では、下水道事業のコスト縮減や事業拡大により、管路更新や雨水対策を可能とすべく、PFI法を活用した経営形態の見直し・大阪港の競争力強化を目指し、**港湾管理業務の府市一元化や、民間資本を活用した大阪港客船ターミナルの施設整備事業によるベイエリアの活用方法**などを議論しました。

また、危機管理や消防においては大規模災害を見据えた行政連携や備蓄のあり方、テロや救急安全対策を確認するとともに、過去最高の入場者数を達成した天王寺動物園の改革、自転車レーンや地下駐輪場の整備、無電柱化、魅力的な公園作り、インフラ整備など広く質疑を行いました。

経済活性化の基盤、都市インフラの整備を推進します！



岡崎太委員 (東成区) 大橋一隆委員 (鶴見区) 梅園まこと委員 (阿倍野区) 市ヶけんた委員 (淀川区) 守島正委員長 (東淀川区) 竹下かし副委員長 (浪速区)

交通水道委員会まとめ

交通/水道局を所轄する当委員会では、地下鉄・バス・水道の経営形態変更に関する質疑を中心に行いました。民営化により公営企業の制約がなくなるためメリットは大きいこと、また公営と民営では会計制度が違うため予算や決算額では比較できないことが質疑により確認出来ました。

交通局の民営化に向けて、**バス事業は民営化を基本とする経営健全化計画が可決**され、続けて地下鉄も民営化に向け進めていきます。

水道事業は、命の水を扱っている事業者として重要であるため、施設は大阪市が責任と権利を持つことは変わらず、安倍政権が進める成長戦略である運営権制度を活用することで、**水を作り家庭に届けることの事業については安全が約束出来ると**質疑しました。

バス事業の民営化基本方針案が可決しました！



改発康秀委員 (平野区) 井戸まさとし委員 (都島区) ホンダリエ委員 (城東区) 奥野康俊委員 (旭区) 不破忠幸副委員長 (中央区) 杉山みきと委員 (東淀川区)